

国語科 3年

二つのポスターを比較し、批評する（単元「鑑賞と批評」発展学習）

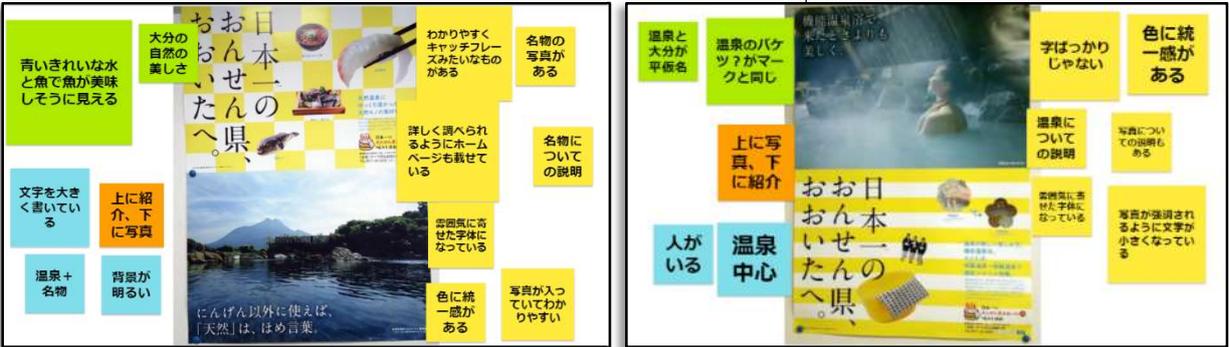
担当 大渡 克教

【活動の目標】

表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ）

【 問 い 】

- ・ポスターの特性や価値などについて、観点を決めて客観的に分析し、自分の考えを書き出そう。
- ・自分の価値判断はどのようなものか、またそれを支える事実はポスターのどこにあるのか検討しよう。

今回 ICT を活用した場面	従来の活動
<p><b>C2 共同での意見整理</b></p> <p>4人班で、二つのポスターについて、各々の気づきを Jam board の付箋機能を使って交流。</p> <p><b>【ICT 機器を活用する良さ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○印刷の必要がなくなる（教員の立場）</li> <li>○カラーで提示され、拡大縮小も自由度が高いため、ポスターを丁寧に見ることが可能。（生徒の立場）</li> <li>○交流結果が Jam board 上に残るので、後からも4人班全員が閲覧できる。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点と原因または改善の見通し】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○Jam board 上で交流をすると一人が拡大すると他者も拡大表示されてしまう。</li> </ul> <p>⇒1ファイル1ページとすると交流も行いやすくなる</p> 	<p>4人班で、紙媒体に（増し刷りされたポスター白黒になることが多い）に付箋で気づきを貼り付ける</p>
<p><b>B4 表現・制作</b></p> <p>ポスターに関する批評文をドキュメントで作成</p> <p><b>【ICT 機器を活用する良さ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○書き誤りがあってもすぐに訂正できる。</li> </ul>	<p>ポスターに関する批評文を手書きで作成</p>

<p>○誤字・脱字が少なく、字の巧拙の差がなくなる。</p> <p><b>【改善すべき点と原因または改善の見通し】</b></p> <p>○ドキュメントでは縦書きが不能である。</p>	
<p><b>C1 発表・話し合い</b></p> <p>クラウドに保存された資料を各自が端末から見て、それに対し、ドキュメントの「コメント」機能を使い、アドバイスする</p>	<p>完成した文章を読み合い、アドバイスを述べる</p>
<p>私はポスター2のほうが、情報が多く大分の魅力が伝わりやすいという点で優れていると考える。</p> <p>ポスター1は、温泉が素晴らしいという情報を「機能温泉浴で来たときよりも美しく」と印象的なキャッチコピーと写真を用いて紹介している。しかし、ポスター2では、「にんげん以外に使えば天然は褒め言葉です」という印象に残りやすいキャッチコピーと写真で温泉はもちろん食材も天然で素晴らしいとより多くの情報を紹介している。</p> <p>だから私は、ポスター2の方が多くの情報で大分の魅力を紹介する点で、ポスター1より優れていると考える。</p>	
<p><b>【ICT 機器を活用する良さ】</b></p> <p>○複数名が一度に一つの文章を読むことができ、時間の無駄がなくなる。</p> <p><b>【改善すべき点と原因または改善の見通し】</b></p> <p>○話し言葉でアドバイスの方が微妙な部分まで相手に伝えることが可能である。</p> <p>○書き言葉のみのアドバイスと限定した場合であっても、手書きのフレキシブルさには及ばないことがある。</p> <p>⇒活動の目的を明らかにしたうえで、アドバイスの観点を焦点化したものにしておくべき。</p>	

**【ICT 活用のポイント】**

単元の進め方に大幅な変更はないものの、授業準備や生徒の作業的な学習においては、時間が削減できたという点において効果があったと考えられる。

また、生徒全員の思考過程がある程度、共有できるという点からもICTは有効である。

しかし、右の図のような添削作業（或いは生徒が相互にアドバイスする場面）においては、やはり手書きの方が表現力が高く、有効であると考えられる。これは、各人のアプリケーションソフトを使用するスキルを上げること、または、アプリケーションソフトの性能向上により解決できると考えられるが、国語科の教科の特質上、高いハードルであると考えられる。

